



## 平和を願って

先の大戦で日本は唯一の被爆国となり、数多くの戦争犠牲者をだしました。敗戦という苦い体験をつうじて、戦争のもつ愚かさや残虐性を最も痛感した国でもあります。

私たちはこの体験をおろそかにせず、世界の平和を構築するために積極的な行動を行なう役割を担わなければなりません。

平和は世界のあらゆる人々が希求する普遍的なものであって、その努力によってこそ実現されるのです。私たちは、平和を愛する心の輪を広げ、人々が共に生き、手をつなぎ、助け合う社会を築き、恒久平和の実現にむけて、一步一步確実な努力を続けていきたいと思えます。

宝塚市は、平成元年3月に世界の恒久平和を願って「非核平和都市宣言」を行いました。平成6年8月には、市民の皆様の平和への願いを具体化し、未来へ伝えていくシンボルとして“火の鳥”をデザインした「平和モニュメント」を市立手塚治虫記念館前に建設いたしました。また、平成15年9月には、核兵器廃絶平和推進基本条例を制定しました。

また、近年、諸外国において実施された臨界前核実験及び地下核実験に対しても、その都度強く遺憾の意を表し、一切の核に関する実験の中止を求める抗議文を送付しています。

そして、市民一人ひとりが、生命の尊さや平和を愛する気持ちを持ち続け、次代の子どもたちに伝えていくために、非核平和都市推進事業を推進しています。

宝 塚 市